

**technical information**

**歯 鉤歯の補綴（クラウン）について**

デンチャー（特にフレキシブルデンチャー）の鉤歯となる歯牙のクラウンを製作する際に、その機能のためのポイントがいくつかございます。

まずは頬側の豊隆形態。最大豊隆点が適切な高さであれば、鉤を審美的妨げにならない位置に設置できますし、維持力も得られます。（図1）

また、サベイラインのデザインも重要です。鉤側 1/3 は鉤が曲がってくれないため、あまりサベイラインが高いと鉤を切端側から設置することになり、審美性を損ねることになります。（図2）

レストシートも適切な形状や深さで設置する必要があります。

鉤歯がクラウンになることで、より機能的な形状を与えることが可能です。

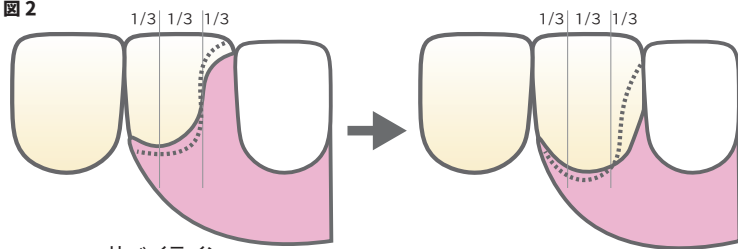
そのあたりも考慮して製作にあたりますので、よろしければ弊社へご相談ください。

図1



頬側の最大豊隆点を適切な高さにすることで、鉤を審美的、機能的に設計できます。

図2



..... サベイライン

鉤側 1/3 のサベイラインが高いと、歯間乳頭が高くなり、鉤が目立つデンチャーになります。

鉤側 1/3 のサベイラインの高さが適切だと、歯間乳頭と鉤を歯頸部に寄せて設計できます。

**歯 技工士ドットコムに紹介されました！**

このたび、「技工士ドットコム」サイトに弊社が紹介されました。

同サイトは口コミ評価が高い技工所を歯科医院へ紹介する目的で立ち上げられ、歯科医院からの推薦が一定以上集まった技工所のみ紹介されるシステムです。

今回は、弊社のお客様より推薦を受けたことで、同サイトから問い合わせがあり、取材の運びとなりました。

7月で創立20年目に入りましたが、長年ご愛顧いただいておりますお客様とともに、真摯に歯科技工と向き合ってきました賜物と自負しております。

是非お時間のある時に同サイトをご覧くださいませ幸いです。



技工士ドットコム→<https://giko4.com>

**歯 シリーズ「症例供覧」について**

MS info 4月号より同封しております納期カレンダーに、シリーズ「症例供覧」を掲載させていただいております。

同コーナーでは、特別なケースではなく日々手掛けるケースをピックアップし、毎月3~4例紹介させていただいております。

じつは4月以降、この「症例供覧」をご覧いただいた先生から補綴設計のご相談を数多くいただくようになりました。

是非これからも同コーナーをご覧いただき、設計のヒントにさせていただければ幸いです。

なお、バックナンバーは弊社WEBサイトに掲載しております。

